

## 新任教員紹介

氏名 外山 健二 (とやま けんじ)

<b>所属</b>	人文学科 欧米言語文学講座
<b>職名</b>	准教授
<b>発令年月日</b>	2016年4月1日
<b>最終学歴</b>	筑波大学大学院博士課程人文社会科学研究科文芸言語専攻修了、博士(文学) [筑波大学]
<b>担当授業科目</b>	学部：文学、必読名著、英米事情、英語専門文献読解、英米文学史(アメリカ)、英文学特殊講義(アメリカ)、英文学演習(アメリカ)、英文学購読(アメリカ)、英文学卒論基礎演習、英文学卒論発展演習、英文学卒業論文、TOEIC 準備、Basic English、英語リーディング 大学院：人文科学総論、英米文学論(アメリカ)、英米文学論演習(アメリカ・19世紀以前)、英米文学論演習(アメリカ・20世紀以後)、欧米言語文学演習
<b>研究活動の概要</b>	<p>アメリカ合衆国に生まれ、しばらく合衆国で活動した後、北アフリカのモロッコに定住し、そこで作家活動を行った、ポール・ボウルズを追っています。また、この研究を契機に、アメリカ文学とイスラームという研究課題に取り組んでいます。</p> <p>ボウルズの特徴には、〈移動〉を続け、最終的にはモロッコに定住し、イスラームの環境で作品を生成した点があります。モロッコを中心としてイスラーム社会を描いた、アメリカ人作家は『シェルタリング・スカイ』を初めとして、マグレブ(北アフリカ)を舞台とする諸作品を生み出していくのです。『蜘蛛の家』では、ボウルズは初めてムスリム(イスラーム教徒)を主人公的存在としています。この作品の主人公的存在のアマールのモデルとされる、モロッコ人ヤクービの口承物語『男と女』をカセットテープレコーダーの録音をもとに英訳したボウルズは、モロッコ人ラルビの『穴だらけの人生』やムラベットの『数本の毛髪のお愛』等を同様に英訳しています。これらの特徴は、録音を通じた音声言語の〈翻訳〉とう点にあります。しかも、その〈翻訳〉のおかげでラルビらは合衆国に〈移動〉します。</p> <p>たとえばイスラーム圏の音声録音という「人類学的」的要素とムスリムという「現地人」を問うために、ポストコロニアル批評の認識と共に、人類学的考察や〈翻訳〉論等の研究を横断的に行いつつ、英語文学や世界文学を視野に入れた、新たなアメリカ文学を追っています。</p>